

ロシア国立研究医科大学共同研究者一行が

つくば臨床医学研究開発機構 未来医工融合研究センターを訪問

国際連携推進室 未来医工融合研究センター

12月17日（木）に、本学交流協定締結大学であるロシア国立研究医科大学と共同研究を進めているアメリカ・BOA TECHNOLOGY INC.の医療分野・グローバルカテゴリーマネージャーBRET BOSTOCK（ブレット・ボストック）氏、同アカウントマネージャーのMCHRIS GUARNERO（クリス・ガーニコ）氏が、未来医工融合研究センターを訪問されました。

二氏は、本学が実施している「大学の世界展開力強化事業『ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（略称Ge-NIS）』」を通じて2月に来訪された方（ロシア国立研究医科大学）の推薦で訪問され、専門のリハビリ分野での視察と懇談を強く希望していました。

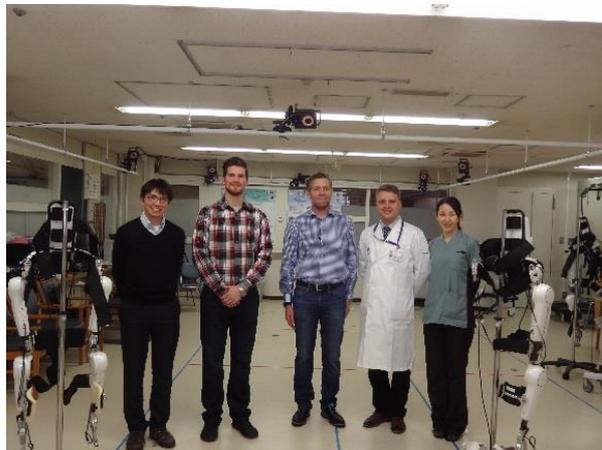
同センターにおいて、鶴嶋英夫 未来医工融合研究センター長よりご挨拶があり、続いて門根秀樹 医学医療系・同センター助教とスタッフによるロボットスーツ HAL の説明とデモンストレーションが実施されました。実際に HAL を体験した二氏からは、HAL の技術の高さに感動の言葉と、専門的な質問が数多く出され、充実した訪問となりました。

BOA TECHNOLOGY INC. は、筑波大学の交流協定締結大学であるロシア国立研究医科大学と協働で当該分野における先端研究と開発を進めています。そのため、二氏は「今後の研究に今回の視察で得た知見を役立たせていきたい、日本での研究も視野に入れたい」と語られていました。BOA TECHNOLOGY INC. は千葉県に拠点があり、今後の研究協力が期待されます。

今後も当院では、医療の国際交流の推進、医工連携の推進等をして参ります。



ロボットスーツ HAL の見学の様子



見学者の方と記念撮影

ブラジル国・サンタクルス病院理事が筑波大学附属病院を訪問

国際連携推進室

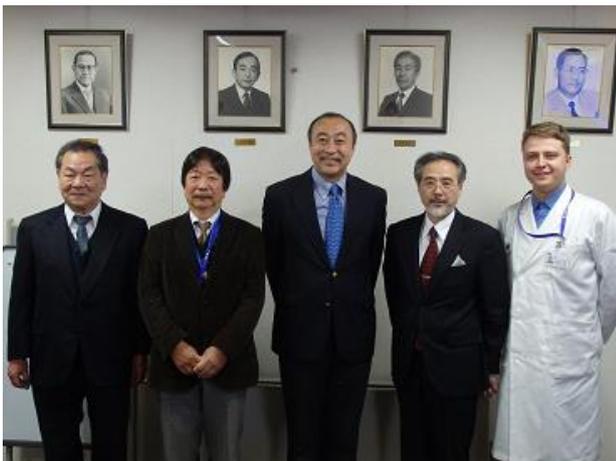
1月8日、ブラジル国・サンパウロ州・サンタクルス病院理事のマリオ・佐藤氏が本院を来訪し、松村明附属病院長へ表敬訪問されました。

同氏は一橋大学大学院研究生として学んだ経験を持ち、また1980年代にはブラジル国経済企画大臣補佐官を務めた経済の専門家です。日本国内情勢や経済学に関する確かな知見と経験を活かし、2015年にサンタクルス病院理事に就任しました。

サンタクルス病院は現地ではかつては「日本病院」と呼ばれており、今も日系の患者や医療従事者の割合が多い病院です。このような背景から、筑波大学サンパウロオフィスを通して本院との交流を強く希望していました。

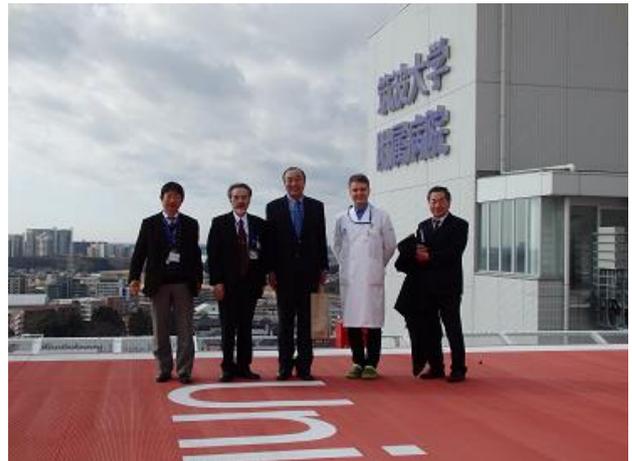
はじめに、松村明 附属病院長から挨拶があり、続いて、秋山稔 国際連携推進室長から病院概要の説明後、今後の交流推進に向けた話し合いが行われ、懇談後には、院内を視察しました。今回の訪問でマリオ氏は、本院の運営体制や施設等に変感銘を受け、まずは医師派遣を実施していきたい旨の提言があるなど、非常に有意義な訪問となりました。

今後の本院とサンタクルス病院との相互交流や人材育成交流が大きく期待されます。



記念撮影

左から八幡暁彦筑波大学サンパウロオフィスコーディネーター、秋山稔国際連携推進室長、マリオ・佐藤理事、松村明附属病院長、アレキサンダー・ザボロノ



屋上ヘリポートにて

関東地区病院ボランティアの会を開催

病院総務部医事課

1月20日（水）、関東地区病院ボランティアの会が筑波大学附属病院にて開催されました。本会は、関東地区ボランティアの会の方たちが相互の親睦と意見交換を通じてボランティア活動の質の向上を図ることを目的としており、本院での開催はこれが初めてとなります。今回は本院を含む聖路加国際病院、東京労災

病院，浴風会病院，立正佼成会附属佼成病院，慶応義塾大学病院及び筑波メディカルセンター病院の7つの病院から32名のボランティアの参加がありました。

はじめに 長谷川純子 関東地区病院ボランティア代表（聖路加国際病院）から挨拶があり，続いて 松村明 筑波大学附属病院院長，小泉仁子 副病院長（看護・患者サービス）及び 石塚伸 医事課長から挨拶がありました。引き続き，各病院のボランティアの方から，自己紹介とボランティア活動内容について紹介があり，記念撮影が行われました。その後，けやき棟 12 階展望室，けやきプラザ，アートスペース，陽子線センター，患者図書室等を見学しました。見学中には，楽しい雰囲気の中で，本院の各施設に関する活発な意見交換が行われました。終始和やかな雰囲気です充実した会となりました。



挨拶される長谷川純子代表



挨拶される松村明病院長



関東地区病院ボランティアの会の様子



アートスペースを見学されている様子



全員による記念撮影

「新春コンサート お琴，尺八の調べ」を開催

病院総務部医事課

1月6日（水）16時から，筑波大学附属病院けやき棟1階けやきプラザにおいて，患者サービスの一環として「新春コンサート お琴，尺八の調べ」を開催しました。

コンサートでは、琴奏者 鈴木洋子 様、尺八奏者 吉田暹山 様を代表とする15名の奏者による優雅な演奏が披露されました。なお、演奏者の中には、元本院職員及び本学医学医療系博士課程在学中の学生も参加していました。

演奏曲は、「編曲 八千代獅子」を始め、「六段の調」, 「ことうた 日本の歌」, 「春の海」に続き、最後に東日本大震災に制作されたチャリティーソング「花は咲く」を来場者全員と合唱し、入院中及び通院中の患者さんにとっても新春の楽しいひと時となりました。



コンサートの様子1



コンサートの様子2



お琴,尺八の演奏の様子



演奏者による記念撮影

◎ 12月紹介患者月別調査表

	(A) 紹介患者 数 (人)	(B) 逆紹介患 者数 (人)	(C) 救急自動車による 搬入患者数(人) (上記のうち初診患者数 をC' とし、内数で表す)	(D) 初診患者数(人) (上記のうち休日等6 歳未満患者数を D' と し、内数で表す)	診療報酬上 の紹介率 (A+C')÷D (%)
12月	1,537	1,340	303	1,902	89.5

◎ 12月院外処方せん発行枚数等

	診療 日数 (日)	発行処方せん 総枚数(枚)	うち 院外発行処方 せん枚数(枚)	院外処方せん 発行率(%)	1日平均 処方せん 枚数(枚)	1日平均院外 処方せん枚数 (枚)
12月	19	16,327	14,623	89.56	859.3	769.6

◎ 12月曜日別外来患者数

	曜日	月	火	水	木	金
12月	平均	1,832人	1,667人	1,784人	1,859人	1,718人
	最高	1,926人	1,784人	1,845人	1,923人	1,961人
	最低	1,692人	1,439人	1,704人	1,815人	1,560人

◎ 12月患者数

	入 院			外 来	
	延 数 (人)	1日平均数 (人)	病床稼働率 (%)	延 数 (人)	1日平均数 (人)
12月	20,102	701.9	87.7	34,140	1,796.8

病院ニュースは、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/innai/news/> (院内のみ)

病院 HP でも一部抜粋して掲載しています。

<http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/>

「病院ニュース」の次回(449号)の発行は2月29日(月)、原稿締切りは2月22日(月)となります。

「病院ニュース」への寄稿に際しては、できる限り電子ファイル等をお願いします。

なお、掲載情報については、文教速報(官庁通信社発行)等学外へ提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

e-mail:hsp.somuka@un.tsukuba.ac.jp 病院総務部総務課総務担当(3519, 3521)